

麻酔科・集中治療部

a. 体制—当該年度の特徴・スタッフ等

麻酔科学会プログラム研修中のレジデント3名のうち1名（熊谷）が前年度末で退職、1名（若田）が半年間の外部研修、また概ね2名（柚木・白井ひ）が産休/育休ということで年間を通じて厳しい麻酔科運営であったが、非常勤を増やすことによって前年度とほぼ同数の総計3763件の麻酔科管理症例に対応した。また10月より宮崎が集中治療部部長から同主任部長へ、黒寄が麻酔科副部長から同部長へとそれぞれ昇格した。黒寄は小児麻酔担当部長として小児麻酔の一層の充実を図りつつある。ICU入室症例は695例で、多くのICU研修を希望する医師と共に充実したICU活動を行うことができた。9月には足立健彦会長の下、日本麻酔科学会関西支部学術集会を主管し、座長、講演、セミナーなどにおいて当科スタッフが活躍した。研究活動においては、引き続き、関西医科大学廣田教授との共同研究で科研費の基盤研究Cを行った。

スタッフ

副院長・麻酔科部長・中央手術部長	足立健彦
麻酔科主任部長	加藤茂久
集中治療部主任部長（10/1昇格）	宮崎嘉也
麻酔科部長（10/1昇格）	黒寄明子
副部長（短時間勤務正職員）	佐々木由紀子
副部長（短時間勤務正職員）	原朋子
副部長	野々村智子
医員（短時間勤務正職員：12/31まで育休）	柚木圭子
医員	直井紀子
医員	白井直人
医員（短時間勤務正職員：6/16から産休）	白井ひろみ
医員	村田裕
レジデント	福元友梨
レジデント（4/1-9/30は外部研修）	若田竜一

b. 診療実績—臨床統計等

麻酔科管理症例数	3763
内 全身麻酔数	3288
内 緊急手術数	414

集中治療部入室症例数	695
内 人工呼吸症例数	205
内 血液透析症例数	34

c. 研究実績

(学会)

- 1 村田裕 巨大卵巣腫瘍の麻酔 関西支部症例検討会 (マンスリー) 2017/5/20 (大阪)
- 2 黒寄明子、三井克巳、尾上雅英、足立健彦 ミダゾラムの味を変える
— 味覚センサーによる検討 — 日本麻酔科学会第64回学術集会 2017/6/9 (兵庫)
- 3 村田裕 巨大卵巣腫瘍の麻酔 第17回侵襲反応制御医学研究会 2017/7/1 (京都)
- 4 加藤茂久 不適切な術中体位に基づく合併症 (講演 麻酔科領域講習)
日本麻酔科学会第63回関西支部学術集会 2017/9/2 (大阪)
- 5 村田裕 4. 筋弛緩薬ってほんとうに必要なの? (講演)
日本麻酔科学会関西支部周術期管理チームセミナー 2017/9/2 (大阪)
- 6 白井直人 6. 周術期循環管理 ショックの診断と治療 (講演)
日本麻酔科学会関西支部周術期管理チームセミナー 2017/9/2 (大阪)
- 7 黒寄明子、足立健彦 悪性高熱が疑われたギランバレー症候群合併児の麻酔経験
日本小児麻酔学会第23回大会 2017/10/8 (福岡)
- 8 熊谷友里、黒寄明子、足立健彦 Total cavopulmonary shunt (TCPS) 循環における
腹腔鏡下胆嚢摘出術の麻酔経験 日本小児麻酔学会第23回大会 2017/10/7 (福岡)
- 9 足立健彦 当院における大腿骨頸部骨折の術後30日死亡率の検討
第22回侵襲反応制御医学研究会 2018/1/27 (京都)
- 10 足立健彦、佐々木由紀子 当院における大腿骨頸部骨折の術後30日死亡率の検討
第30回日本老年麻酔学会 2018/2/10-11 (香川)
- 11 加藤茂久 関西支部症例検討会 (マンスリー) 神経内視鏡手術中に突然脳波が
平坦化した1症例 2018/2/17 (大阪)

- 1 2 福元由梨、宮崎嘉也、足立健彦 腫瘍性気道狭窄患者に対し ICU で化学療法を施行した 2 症例 第 45 回日本集中治療医学会学術集会 2018/2/21-23 (千葉)

(研究課題)

- 1 大腿骨頸部骨折手術の麻酔方法と術後 30 日死亡率の検討 (柚木圭子、足立健彦)
- 2 麻酔台帳 I T 化を利用した周術期合併症の要因分析 (原 朋子)
- 3 糖尿病患者の術前コントロールと周術期合併症に関する後ろ向き研究 (佐々木由紀子)
- 4 新生児、乳児の鏡視下手術の麻酔管理 (黒寄明子)
- 5 敗血症患者管理におけるプレセプシン測定の有効性に関する検討 (宮崎嘉也)
- 6 高度低肺機能患者の胸腔鏡下手術における自発呼吸下麻酔の有用性および安全性に関する研究 (加藤茂久)
- 7 腹腔鏡下手術時のポート部位と術後痛予防に有効な末梢神経ブロックの種類に関する研究 (加藤茂久)
- 8 麻酔術前診察時の患者自己申告体重と実体重との隔たりに関与する因子についての研究 (加藤茂久)
- 9 胸部手術における超音波ガイド下 serratus plane block の有用性に関する研究 (加藤茂久)
- 1 0 術後悪心嘔吐の予防目的で術中投与するドロペリドールの副作用である錐体外路症状に関する調査研究。特に若年者における状況。(加藤茂久)
- 1 1 新しい筋弛緩モニタと従来型筋弛緩モニタの比較研究 (足立健彦、村田裕)
- 1 2 急性肺障害の慢性化過程に動的な生体内レドックスリモデリングが果たす役割の追究 (足立健彦・広田喜一 (関西医科大学麻酔科学教室))